



QRコードを読み取り、令和元年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



いなば こうじ
稲葉 晃司 議員
(蒼天)

富士宮市に大量の災害廃棄物をもたらす大規模災害が発生した時の市の対応は。

問 富士宮市災害廃棄物処理計画で設定できているものと、できていないものは何か。また、設定できていない要因は何か。

部長 処理計画の対象とする災害はマグニチュード8程度のレベル1の東海地震、マグニチュード9程度のレベル2の南海トラフ巨大地震を想定している。被害想定における災害廃棄物の発生想定量が膨大な量であることから仮置き場の数が足りていない状況にある。これは市や県の公有地を優先的に仮置き場の候補地としていることが要因と考えている。静岡県は近年発生した自然災害からの教訓を反映し、令和元年度県の計画をより実践的な対応を盛り込んだものに見直しを行っている。富士宮市も県の計画見直しを踏まえ、初動体

制に充実を図るため、仮置き場候補地の確保、選定や設置・運営、住民への周知、災害廃棄物処理体制等を見直し、実行計画を策定していく。

問 富士宮市の災害廃棄物想定量はレベル1、2ともに14万8000tであり、これは富士宮市が一年間に処理する量の3.7倍。これらの処理に要する日数はどれほどか。また、市内での処理が困難になった時の対応はいかがか。

部長 災害廃棄物処理計画では、処理期間を3年間と設定しているものの、近頃の災害の状況から現実的には市の処理施設だけでは極めて厳しいと考えている。そのため、市内の民間施設の廃棄物処理施設3社と地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定を締結している。また、市内の処理施設で対応が困難な場合を考慮し、平成13年3月に県内全市町との間で一般廃棄物に関する災害時等の相互援助に関する協定書を締結して、相互の応援を円滑に行う体制を構築している。

今後の定例会の開催日

傍聴
できます!

【2月定例会】

2月12日(水)～3月17日(火)
まで開催予定

- ◆日程は変更になる場合があります。間近になりましたら市議会事務局にお問い合わせください。
- ◆市議会ホームページから確認できます。

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑応答や議会だよりの内容など、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メールなどでご意見を受け付けています。

アンケート用紙→傍聴席のアンケート回収箱に
郵便→〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
富士宮市役所 市議会事務局あて
メール→c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp



議会を「ネット」でみよう!

本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。右のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが『スマホ』や『タブレット』からでも見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

富士宮市議会 検索

